

au

新潟日報

第8号

企画・制作／新潟日報社広告局

auは新潟を応援しています。

オリジナルTシャツをデザイン、制作。
テーマは「日常を楽しもう」

「こんなに長く新潟で暮らすことになるたね」。荷物が運び出された古町通四番町の民家で、窓辺に座った迫一成さんが話す。「軽い気持ち白いことを始めたくて新潟大学を選んだが下ろして九年。長く暮らしたこの家に別れを告げ、南大畑へ引越し。今年十月には結婚式を控えている。

「こんなに長く新潟で暮らすことになるたね」。荷物が運び出された古町通四番町の民家で、窓辺に座った迫一成さんが話す。「軽い気持ち白いことを始めたくて新潟大学を選んだが下ろして九年。長く暮らしたこの家に別れを告げ、南大畑へ引越し。今年十月には結婚式を控えている。

大学在学中は新潟で暮らすことになるたね」。荷物が運び出された古町通四番町の民家で、窓辺に座った迫一成さんが話す。「軽い気持ち白いことを始めたくて新潟大学を選んだが下ろして九年。長く暮らしたこの家に別れを告げ、南大畑へ引越し。今年十月には結婚式を控えている。

大学在学中は新潟で暮らすことになるたね」。荷物が運び出された古町通四番町の民家で、窓辺に座った迫一成さんが話す。「軽い気持ち白いことを始めたくて新潟大学を選んだが下ろして九年。長く暮らしたこの家に別れを告げ、南大畑へ引越し。今年十月には結婚式を控えている。



ご意見募集しています。

この紙面キャンペーンについてのご意見、ご感想をお寄せください。抽選でLISMOオリジナルグッズをプレゼントします。応募方法ははがきに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、ご意見ご感想を明記のうえ、〒950-1189 新潟市善久772-2 新潟日報社広告部「auは新潟を応援しています。」キャブーン係へまた、このキャンペーンで既に掲載した紙面を新潟日報ホームページ上に掲載しています。(URL: <http://www.niigata-nippo.com/au/open>)。ページ上からご応募も可能です。ご応募の個人情報はプレゼント発送にのみ利用します。



ネットとイベント、フリーぺーぺーで情報発信

思いを伝える僕の手段は「絵」と「人」と人がつながる町に暮らしたい

豊かなふるさとの未来つくりを応援する
新潟のトップランナーたちを紹介します。

hickory03
travelers代表
迫 一成さん

この広告シリーズでは、

さまざまな活動や情報発信を通じて、

古いものを壊すのは簡単。
なくなつてから嘆くのはかつこ悪い

翌年からアーケードの架け替えに関する集まりが始まり、古通りを深く知るようになった。「昔は栄えた商店街には、寂れてきた原因がある。このままいいんだらうか」。そんな思いを抱いていたころ、向かいの渡道酒店が閉店してしまう経つと「あればよかつたのに」と言ふなやう。だけど、言ふばかりですぐ壊すてしまう。そんなのにつまつた悪い。そこで、人が集まる楽しい場所ができればと思つたんです」

Tシャツはキャンバス。
絵で思いを伝えたい

迫さんはいくつもの顔がある。hickory03 travelers代表で、新潟市上古町商店街振興組合理事であり、そして何よりもクリエイターだ。「思いを伝えるのは絵。Tシャツは僕にとってギャラルデザインの思想を開いた。こちらのコンセプトは「つながり」。ユニークなスパンバースは草木染めやデッサン、写真教室などを使われ、新潟の野菜や加工品も販売。八月六日の千灯まつりに遠藤在(みつる)さん、ハシモトマユコさん、大学の先輩だったHICKORY03 TRAVELERSに「わたり」というテーマで東京で知り合った遠藤在(みつる)さん、スプレイのテーマを楽しもう」とあります。何か面白いことを始めたくて新潟大学を選んだが下ろして九年。長い間を離れた新潟の町に根を下ろして九年。長く暮らしたこの家に別れを告げ、南大畑へ引越し。今年十月には結婚式を控えている。これまで新潟で暮らしたことのある迫一成さんは、「軽い気持ち白いことを始めたくて新潟大学を選んだが下ろして九年。長く暮らしたこの家に別れを告げ、南大畑へ引越し。今年十月には結婚式を控えている。

ます。仰々しくないすつきりしたデザインと数字のフォント、特に数字にはこだわっています。仰々しくないすつきりしたデザインと数字のフォント、特に数字にはこだわります。仰々しくないすつきりしたデザインと数字のフォント、特に数字にはこだわらたいですね。迫さんは僕にとってギャラルデザインの思想を開いた。こちらのコンセプトは「つながり」。ユニークなスパンバースは草木染めやデッサン、写真教室などを使われ、新潟の野菜や加工品も販売。八月六日の千灯まつりに遠藤在(みつる)さん、ハシモトマユコさん、大学の先輩だったHICKORY03 TRAVELERSに「わたり」というテーマで東京で知り合った遠藤在(みつる)さん、スプレイのテーマを楽しもう」とあります。何か面白いことを始めたくて新潟大学を選んだが下ろして九年。長い間を離れた新潟の町に根を下ろして九年。长く暮らしたこの家に別れを告げ、南大畑へ引越し。今年十月には結婚式を控えている。

◆プロフィル
迫一成(さことかずなり)さん。1978年11月7日、福岡県那珂川町出身。新潟大学人文学部卒業後、いがたTMOが経営するに絞りROSAのチャレンジショップに出店。03年3月、古町3番町に遠藤在さん(静岡県出身)、ハシモトマユコさん(福井県出身)と共同で、クリエイト集団hickory03 travelers(ヒックリースリー・トラベラーズ)を、06年4月に「ワタミチ」をオープン。アート作品の個展やライブイベントで創作活動を行うクリエイターであり、新潟市上古町商店街振興組合理事などの肩書きも。



hickory03 travelers
新潟市古町通3番町657 電話 025-228-5739
HP <http://www.h03tr.com/>